

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 4 年 4 月 1 日(2022.4.1)

【公開番号】特開 2021-122409(P2021-122409A)
 【公開日】令和 3 年 8 月 30 日(2021.8.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2021-040
 【出願番号】特願 2020-16759(P2020-16759)
 【国際特許分類】
 A 6 3 F 7/02(2006.01)
 【F I】
 A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
 【提出日】令和 4 年 3 月 24 日(2022.3.24)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

20

可変表示の表示結果が特定表示結果となったことに基づいて遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
 遊技者の操作に応じて遊技媒体を発射可能な発射手段と、
 音出力手段と、
 表示手段と、
 発光手段と、

演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、
 前記表示手段は、第 1 表示領域と、該第 1 表示領域よりも周縁寄りの第 2 表示領域と、を
 含み、

30

前記演出実行手段は、
前記有利状態に制御されることを示唆する特定演出と、
第 1 領域と第 2 領域とのうち、該第 2 領域に向けて遊技媒体を発射させることを画像表示
を用いて遊技者に促す案内表示と、
前記第 2 領域に向けて遊技媒体を発射させることを発光手段の発光箇所を移動させること
で遊技者に促す案内発光と、を実行可能であり、
 前記特定演出は、

前記表示手段に演出動画が表示され、前記音出力手段で演出音出力され、前記発光手段
 が発光する演出であり、

40

第 1 期間と、該第 1 期間後の第 2 期間と、該第 2 期間後の期間であって、演出結果として
 有利態様または不利態様のいずれか一方の態様を報知する第 3 期間と、で構成され、
 前記演出実行手段は、

前記第 1 表示領域において、前記演出動画を表示可能であり、
 前記第 2 表示領域において、遊技に関する情報表示を表示可能であり、

前記第 1 期間において、前記第 1 表示領域に第 1 速度で進行する演出態様の前記演出動画
 を表示しつつ、前記情報表示を前記第 2 表示領域に表示可能であり、

前記第 2 期間において、前記第 1 表示領域に第 1 速度よりも遅い第 2 速度で進行する演出
 態様の前記演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第 2 表示領域に表示可能であり、
 前記第 1 期間と前記第 2 期間とのいずれにおいても、前記発光手段の発光態様を変化させ

50

ることが可能であるとともに、前記第 2 期間において、前記第 1 期間よりも短い間隔で前記発光手段の発光態様を変化させることが可能であり、
前記第 3 期間において、前記発光手段の発光態様を変化させることが可能であるとともに、前記第 2 期間よりも長い間隔で前記発光手段の発光態様を変化させることが可能であり、

前記情報表示の態様は、前記第 1 期間及び前記第 2 期間において共通し、

前記案内表示は、第 1 案内表示と、第 2 案内表示と、を含み、

前記演出実行手段は、

前記有利状態の制御の開始に関する開始演出が実行されているときに、前記第 1 案内表示および前記第 2 案内表示を行い、その後の期間において、前記第 1 案内表示を終了する一方、前記第 2 案内表示を行い、

前記有利状態の制御が終了した後の特別状態において、前記第 2 案内表示を行い、

前記発光手段を消灯させた後、前記第 1 案内表示を行うときに前記案内発光を行う、ことを特徴とする、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

手段 A の遊技機は、

可変表示の表示結果が特定表示結果となったことに基づいて遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

遊技者の操作に応じて遊技媒体を発射可能な発射手段と、

音出力手段と、

表示手段と、

発光手段と、

演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、

前記表示手段は、第 1 表示領域と、該第 1 表示領域よりも周縁寄りの第 2 表示領域と、を含み、

前記演出実行手段は、

前記有利状態に制御されることを示唆する特定演出と、

第 1 領域と第 2 領域とのうち、該第 2 領域に向けて遊技媒体を発射させることを画像表示を用いて遊技者に促す案内表示と、

前記第 2 領域に向けて遊技媒体を発射させることを発光手段の発光箇所を移動させることで遊技者に促す案内発光と、を実行可能であり、

前記特定演出は、

前記表示手段に演出動画が表示され、前記音出力手段で演出音出力され、前記発光手段が発光する演出であり、

第 1 期間と、該第 1 期間後の第 2 期間と、該第 2 期間後の期間であって、演出結果として有利態様または不利態様のいずれか一方の態様を報知する第 3 期間と、で構成され、

前記演出実行手段は、

前記第 1 表示領域において、前記演出動画を表示可能であり、

前記第 2 表示領域において、遊技に関する情報表示を表示可能であり、

前記第 1 期間において、前記第 1 表示領域に第 1 速度で進行する演出態様の前記演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第 2 表示領域に表示可能であり、

前記第 2 期間において、前記第 1 表示領域に第 1 速度よりも遅い第 2 速度で進行する演出態様の前記演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第 2 表示領域に表示可能であり、

前記第 1 期間と前記第 2 期間とのいずれにおいても、前記発光手段の発光態様を変化させることが可能であるとともに、前記第 2 期間において、前記第 1 期間よりも短い間隔で前

10

20

30

40

50

記発光手段の発光態様を変化させることが可能であり、
前記第 3 期間において、前記発光手段の発光態様を変化させることが可能であるとともに、
前記第 2 期間よりも長い間隔で前記発光手段の発光態様を変化させることが可能であり
—

前記情報表示の態様は、前記第 1 期間及び前記第 2 期間において共通し、

前記案内表示は、第 1 案内表示と、第 2 案内表示と、を含み、

前記演出実行手段は、

前記有利状態の制御の開始に関する開始演出が実行されているときに、前記第 1 案内表示
および前記第 2 案内表示を行い、その後の期間において、前記第 1 案内表示を終了する一
方で前記第 2 案内表示を行い、

10

前記有利状態の制御が終了した後の特別状態において、前記第 2 案内表示を行い、

前記発光手段を消灯させた後、前記第 1 案内表示を行うときに前記案内発光を行う、
ことを特徴としている。

手段 1 の遊技機は、

可変表示の表示結果が特定表示結果となったことに基づいて遊技者にとって有利な有利状
態に制御可能な遊技機であって、

演出音を出力可能な音出力手段（例えば、スピーカ 8 L、8 R 及び音声制御基板 1 3 に搭
載されている音声合成用 I C 0 7 9 S G 1 3 2、音声データ R O M 0 7 9 S G 1 3 3、増
幅回路 0 7 9 S G 1 3 4）と、

演出動画を表示可能な表示手段（例えば、画像表示装置 5）と、

20

前記表示手段にキャラクタの演出動画を表示するとともに該キャラクタの演出動画の表示に
伴って前記音出力手段により演出音を出力する所定演出（例えば、リーチ演出）を実行可
能な演出実行手段（例えば、演出制御用 C P U 1 2 0）と、

を備え、

前記所定演出に対応する演出音は、楽曲と効果音とを含み（例えば、スピーカ 8 L、8 R
から B G M（楽曲）や効果音を出力可能な部分）、

前記演出実行手段は、

前記所定演出の第 1 期間において、演出の進行速度が第 1 速度である演出動画を前記表示
手段に表示可能であり（例えば、図 1 0 - 1 9 ~ 図 1 0 - 2 5 に示すように、第 1 リーチ
演出、第 2 リーチ演出、第 3 リーチ演出、第 4 リーチ演出のそれぞれの前半部分実行期間
中に各リーチ演出の動画が進行速度 V 1 にて画像表示装置 5 に表示されている部分）、

30

前記第 1 期間よりも後の前記所定演出の第 2 期間において、演出の進行速度が前記第 1 速
度よりも遅い第 2 速度である演出動画を前記表示手段に表示可能であり（例えば、図 1 0
- 1 9 ~ 図 1 0 - 2 5 に示すように、第 1 リーチ演出、第 2 リーチ演出、第 3 リーチ演出
、第 4 リーチ演出のそれぞれの後半部分実行期間中に各リーチ演出の動画が進行速度 V 2
にて画像表示装置 5 に表示されている部分）、

前記所定演出に対応する演出音については、前記第 1 期間と前記第 2 期間とのいずれにお
いても、演出音に関する速度を同一速度にて前記音出力手段により出力可能であり（例え
ば、図 1 0 - 1 9 ~ 図 1 0 - 2 5 に示すように、第 1 リーチ演出、第 2 リーチ演出、第 3
リーチ演出、第 4 リーチ演出のそれぞれの前半部分実行期間中と後半部分実行期間中にお
いて、スピーカ 8 L、8 R から B G M や演出音等が通常の再生速度である V 4 にて出力さ
れている部分）、

40

さらに、

遊技者の操作に応じて遊技領域に遊技媒体を発射可能な発射手段と、

前記遊技領域において遊技媒体が流下可能な第 1 流下経路と第 2 流下経路とのうち、当該
第 2 流下経路に向けて遊技媒体を発射させることを画像表示を用いて遊技者に促す案内表
示を行う案内表示手段と、を備え、

前記案内表示は、第 1 案内表示と第 2 案内表示とを含み、

前記案内表示手段は、

前記可変表示の表示結果が前記特定表示結果となった後の所定期間において、前記有利状

50

態の制御の開始を報知する開始演出の一部である当該有利状態の名称表示が完了する前から、前記第 2 案内表示を行い、当該有利状態の名称表示の完了以降に前記第 1 案内表示を行うとともに前記第 2 案内表示を継続し、
前記所定期間の後の期間において、前記第 1 案内表示を終了する一方で前記第 2 案内表示を継続し、

前記有利状態の制御が終了した後の特別状態において、前記第 2 案内表示を継続する、ことを特徴としている。

この特徴によれば、所定演出の演出動画の進行速度は第 1 期間と第 2 期間とで変化するが、所定演出に対応する演出音に関する速度は第 1 期間と第 2 期間とで変化しないので、遊技者に対して違和感を与えてしまうことを防止できる。また、所定方向に遊技球を発射させるように遊技者を促す指示を好適に実行することができる。

10

20

30

40

50